

愛知県産業労働センター愛称募集 選定結果

平成 21 年 3 月 19 日 (木)

愛知県産業労働センター

愛称選考委員会

1 最優秀作品 (愛称) 1 点 (副賞 10 万円)

『ウインクあいち(WINC AICHI)』 小池博之(こいけひろゆき)様 (名古屋市)

<愛称の説明>

WORK、INDUSTRY、NEW BUSINESS、CULTUREの頭文字

<選定理由>

産業労働センターの機能を表すキーワードの頭文字を組み合わせ、「WINC」を構成しており、覚えやすく分かりやすい愛称である。「W(働く)」、「I(産業)」はセンターの基本機能を表し、「N(ニュー)」は従来の機能に加えてセンターが展開しようとしている新産業創出、新技術の開発・事業化支援を表している。さらに、ホールなどは「C(文化的)」な活用も想定しており、またセンターのCも表している。

2 優秀作品 10 点 (副賞 5 千円相当の記念品)

『アイワーク』 伊藤由紀子 様 (名古屋市)
木村隆博 様 (名古屋市)
越川和男 様 (千葉県旭市)

<愛称の説明>

愛知の「あい」と仕事を愛する「あい」との願いを込めて名付けました。

産業=industry / 愛知、労働=work、行政機関=the Civil Service から省略して

私は働く 愛知県で働く

『ブライトあいち』 太田かず子 様 (名古屋市)

<愛称の説明>

bright=輝かしい、有望な、快活な、元気な、等の意味のブライトを使い、今も将来も、元気な「愛知県」と願い、皆が幸せになれる様な名前を考えました。

『サンローあいち』 高橋敏雄 様 (福島県福島市)

<愛称の説明>

産業(サンギョウ)と労働(ロウドウ)を組み合わせ、「サンロー」とした。

『^{ラップ}lalapあいち』 水谷康夫 様 (知多郡武豊町)

<愛称の説明>

labor(レイバー=労働)と flap(フラップ=羽ばたいて飛ぶ・はためかす)を合わせた造語で、未来の愛知の産業労働の発展を願うものです。

<p>『アクシスあいち』 松井靖志 様（小牧市）</p> <p><愛称の説明> 県の産業労働行政の枢軸という意味。アクシス=axis 中心部、枢軸。</p>
<p>『アミオ(AMIO)』 高橋善雄 様（岩手県盛岡市）</p> <p><愛称の説明> AMI=(仏語)ともだち、A=愛知、MIO=(伊語)私の (愛知の私のともだち)</p>
<p><small>どうむかん</small> 『働夢館』 鈴木康夫 様（福島県石川郡古殿町）</p> <p><愛称の説明> ・ ・ ・ 産業労働のイメージに未来を夢見る希望を込めて ・ ・ ・</p>
<p>『ライズあいち』 橋本明子 様（刈谷市）</p> <p><愛称の説明> laborのL、industryのI、withのTHから、<small>ライス</small>LITHあいち。上昇する明るいイメージです。</p>
<p><small>アリス プラザ</small> 『ALICE PLAZA』 白川 聡 様（東京都世田谷区）</p> <p><愛称の説明> Aichi 愛知、Labor 労働、Industry 産業、CEnter センターの頭文字 + 人々が大勢集まる「広場」という意味の「PLAZA」を組み合わせせて。</p>
<p>『ワーク・コンパス』 中島弘之 様（群馬県安中市）</p> <p><愛称の説明> <small>シゴトヨウラシんばん</small> 仕事用羅針盤。人々を産業・経済大国「日本」の繁栄継続と発展に導く指針。</p>